

新入生を迎える気持ちが感じられる会となりました。 新入生歓迎会 4月11日(火)

4月11日(木)、新入生オリエンテーションの後、4・5校時に、「新入生歓迎会」を開催しました。

4校時は、2・3年生による斉唱で校歌を紹介、その後、生徒会本部役員と各委員会委員長による活動紹介を行いました。生徒会の1年間の流れや個別の委員会の活動内容など、プロジェクターなども使いながら、わかりやすく説明をしました。1年生にとっては、まだ慣れない中学校での委員会活動について知ることができ、また、2・3年生にとっても、あらためてその役割を確認することができ、この後に各学級で行う委員決めの参考になりました。



5校時は、部活動紹介を実施しました。コロナ禍もあり、ここ数年は予め各部で制作したビデオを視聴する方法で行って来ました。しかし、対面で説明・実演するほうがより伝わる、新入生にとってわかりやすいと考え、今回は新たな試みとして、ステージ上で紹介する方法で行うことになりました。しかし、新年度始まったばかりのこの時期、各部ともそれほど練習時間もとれず、前々日の通しリハーサルは大混乱でした。

そして迎えた当日、前々日とはうって変わり、スムーズな進行の中、どの部も工夫を凝らした部活紹介を披露しました。活動風景のビデオ映像や練習の実演などを入れながら、それぞれの部活動の良さをアピール、それに観客側の2・3年生も拍手等で応援し、新入生を迎える気持ちが感じられる会となりました。それを見た1年生は、今からどの部に入部しようか楽しみにしている様子でした。新入生のため、短い期間のなかで、新たな試みに挑戦し、やりきってくれた2・3年生の皆さん、ありがとうございました。



入学式で、在校生からの「歓迎の言葉」のなかに、こんな一節がありました。

『…中学校生活で、これだけは忘れないでいてほしいこと、それは、**挑戦することの大切さ**です。なぜなら、私はこの八幡中で過ごした二年間のなかで、恐れがあっても「挑戦すること」を心掛けてきたからこそ、社会で生き抜いていくための成長ができたという実感があるからです。…』

学校には、委員会、部活動、検定試験、もちろん授業や行事、係活動や体験活動など、いろいろな活動があります。それらのなかには、自分が「興味もてること」「得意なこと」「向いていること」などがあるかもしれません。そして、実際にやってみると、達成感や自信を得られたり、自分の良さや個性に気づいたり、自分の可能性に出会えるかもしれません。学校はそうしたチャンスが転がっているといえます。しかし、それはやってみるからわかることです。だからこそ、ぜひ、自分なりの「挑戦」をしてほしいと思います。



新年度を迎えたこの機会に、係や委員会は選り好みせず、部活動は興味があれば、まずはやってみる＝「挑戦する」、そうした姿勢で望んでくれることを期待しています。